

# 2024年 11月下旬公演決定！

那覇文化芸術劇場なは一とでは、「出会いシリーズ」と題し、昨年度より現代演劇の新作を創造していくシリーズを立ち上げました。2年目となる今回は、東京を拠点に活動する振付家、演出家で自身の主宰するダンス・パフォーマンス的グループ「モモンガ・コンプレックス」で構成、演出、振付を担う白神ももこ、『ライカムで待っとく』が岸田國士戯曲賞にノミネートされるなど飛躍目覚ましい沖縄の劇作家・兼島拓也が沖縄で“出会い”創作します。

今回、2人が取り組む作品は『花売の縁』。沖縄が世界に誇る伝統芸能である「組踊（くみおどり）」の演目を、時代や生活習慣、時間や距離の感覚が大きく変わった今もなお、変わらない家族の在り方、沖縄のいまを通して現代の私たちの視点から読み解き、現代演劇として再構築します。組踊作品と観客のみなさまとの新たな形での“出会い”にご期待ください。

2024年11月30日 [土]ー12月1日 [日]

那覇文化芸術劇場なは一と 小劇場

原作：組踊『花売の縁』[高宮城親雲上・作]

作・演出：兼島拓也 [チョコ泥棒]

演出・振付：白神ももこ [モモンガ・コンプレックス]

アドバイザー：神谷武史

音楽：jujumo

舞台美術：鈴木健介

衣裳：Aco Miyagi [millie haven]

照明：棚原栄作 [(株) エムエルスタジオ]

※出演者や公演詳細は7月頃に公開します。

なは一と WEB サイト (<https://www.nahart.jp/>)・QR コードよりご確認ください。



## 『花売の縁 (仮)』 出会いシリーズ② 白神ももこ × 兼島拓也

那覇文化芸術劇場なは一とプロデュース



©北川姉妹

組踊とは…

「組踊（くみおどり）」とは、唱え、音楽、踊りによって構成される歌舞劇。中国から琉球王国の新しい国王を任命するためやって来る冊封使（さつほうし）を歓待するため、18世紀初に踊奉行（おどりぶぎょう）であった玉城朝薫（たまぐすくちょうくん）が創始、1719年の尚敬王（しょうけいおう）の冊封儀礼の際に、『二童敵討』と『執心鐘入』の2演目が初めて演じられた。

1972年、「組踊」は国の優れた芸能の一つであるとして、重要無形文化財に指定され、2010年にはユネスコの無形文化遺産にもなっている。

問い合わせ：那覇文化芸術劇場なは一と

電話 098-861-7810 [受付時間 10:00～19:00]

※休館日（第1・第3月曜日）除く

メール [kikaku-nahart@city.naha.lg.jp](mailto:kikaku-nahart@city.naha.lg.jp)

住所 〒900-0015 沖縄県那覇市久茂地3-26-27

主催：那覇市 企画制作：那覇文化芸術劇場なは一と、シマシマ企画